

知っておきたい 診療技術

最新画像診断装置で支える
安心医療

2025年度に各種補助金を活用し、3種類の画像診断装置を導入しました。

■CT装置 SOMATOM go.Top

高性能なカメラのような検出器と強力なX線装置を備えたCT装置で、高精細な画像で全身を撮影できます。救急医療をはじめ、がんや心臓、脳の病気など、さまざまな診断に役立っています。また、放射線の被ばく線量を自動で調整する機能も



CT装置 SOMATOM go.Top
(地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用)

備えています。これにより、画質を落とすことなく患者さんの被ばく線量を減らすことができ、救急対応時においても、短時間で鮮明な画像が得られるため、迅速な診断にも大きく役立っています。

■レントゲン装置 AeroDR

おもに、胸やお腹、骨などを撮影する装置で、複数の撮影用パネル(FPD)を備えています。3枚のパネルをつなげるこ



撮影用パネルを合計7枚導入
(コニカミノルタジャパン社製)

▼各種撮影台



レントゲン装置 AeroDR(救急・リハビリ医療にかかる助成を活用)

とで、背骨全体や脚全体などの、より広い範囲を一度に撮影することが可能です。撮影後はすぐに画像を確認できるため、複数箇所の撮影が必要な場合も迅速に次の撮影へ移ることができ、さらにワイヤレス型のパネルであるため、ベッドから体を動かすことが困難な患者さんの撮影もスムーズに行えるようになります。

■マンモグラフィ装置 AMULET ELITE

乳房専用のX線装置で、触診では気づかないような乳房内の非常に細かい石灰化までくっきり映し出す、高感度の検出器を搭載しています。検査は、乳房を圧迫し薄く伸ばした状態で行います。撮影台や装置先端のカーブが圧迫する際の痛みを軽減する形状に工夫されているため、リラックスして受けていただけです。また、従来に比べて撮影時間も短くなりました。

当院では女性技師が検査を行い、プライバシーにも配慮しながら、安心して受けられる環境づくりを進めています。



富士フィルムメディカル社製
マンモグラフィ装置
AMULET ELITE
(長野県がん医療提供体制施設
設備整備事業を活用)

* * * * *

新しい装置の導入により、検査の精度が高まり、患者さんの負担も少なくなりました。私たち診療放射線部では、チーム全体で協力しながら、地域の皆さんに「安心して受けられる撮影検査」を届けていきたいと考えています。これからも安全でやさしい医療の実現を目指し、より良い環境づくりを続けてまいります。

(診療放射線部技師長 田口雅士)

2025年10月に開催した病院祭・医療展では、『レントゲン・CT・MRIの特徴紹介動画』を上映し、多くの方から「わかりやすかった」と大変ご好評をいただきました。ぜひ一度ご視聴いただき、画像診断の世界に触れてみてください。



YouTube「特徴紹介動画」